

キーワード	Y2	機器	Z4	電力	S5	再生可能 E
					L	学術研究、専門・技術サービス業

一般財団法人 ヒートポンプ蓄熱センター

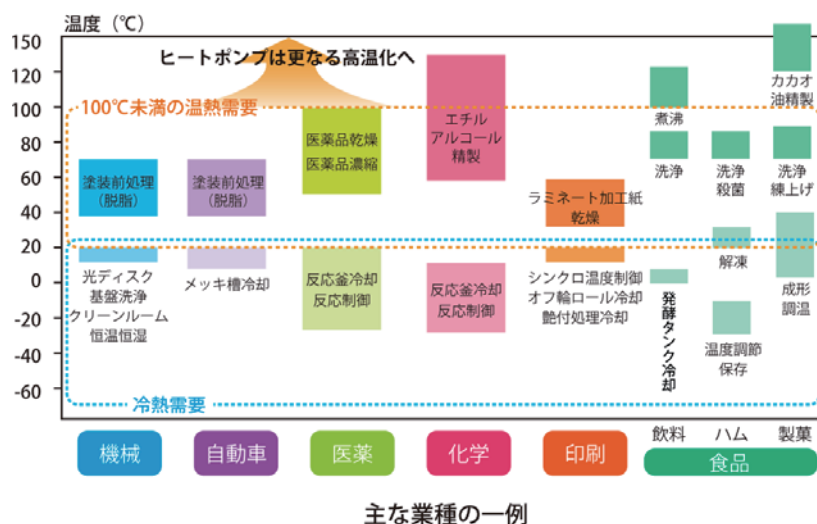
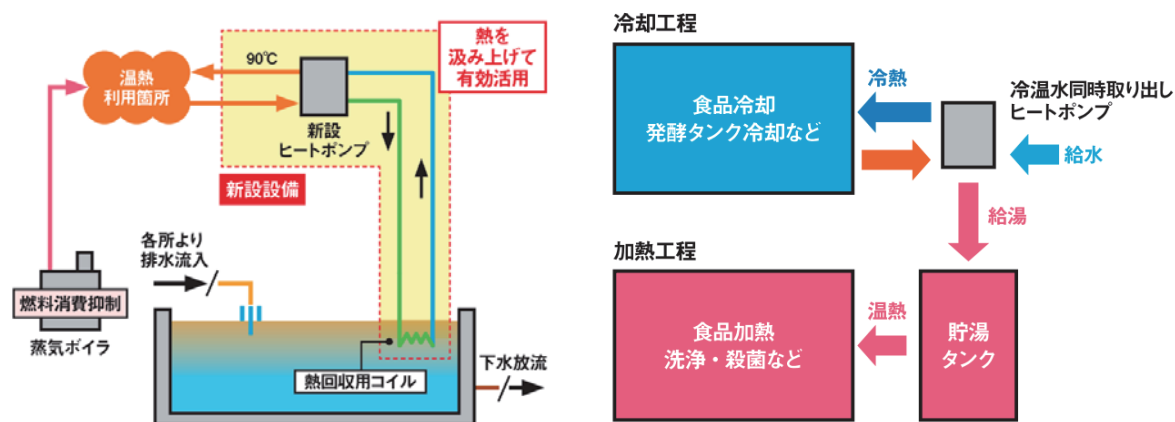
産業用ヒートポンプ

特 徴

- ◆ 自然界に存在する空気や水、地中には太陽を起源とした熱エネルギーが蓄えられている。その熱エネルギーを利用可能な形に集め、空調や給湯・給水加温、乾燥に利用する技術が「ヒートポンプ」である。
- ◆ 化石燃料の代わりに空気や水の熱エネルギーを利用するため省エネルギー性が高く、CO₂ 排出抑制が可能。
- ◆ 高温型ヒートポンプが開発され、100℃未満の温水需要は十分代替できるようになったため、大型ボイラなどの大規模集中型設備を産業用ヒートポンプなど分散型設備に代替することで、配管ロスやドレンロスなどの無駄を減らし、大幅な省エネルギーを達成。

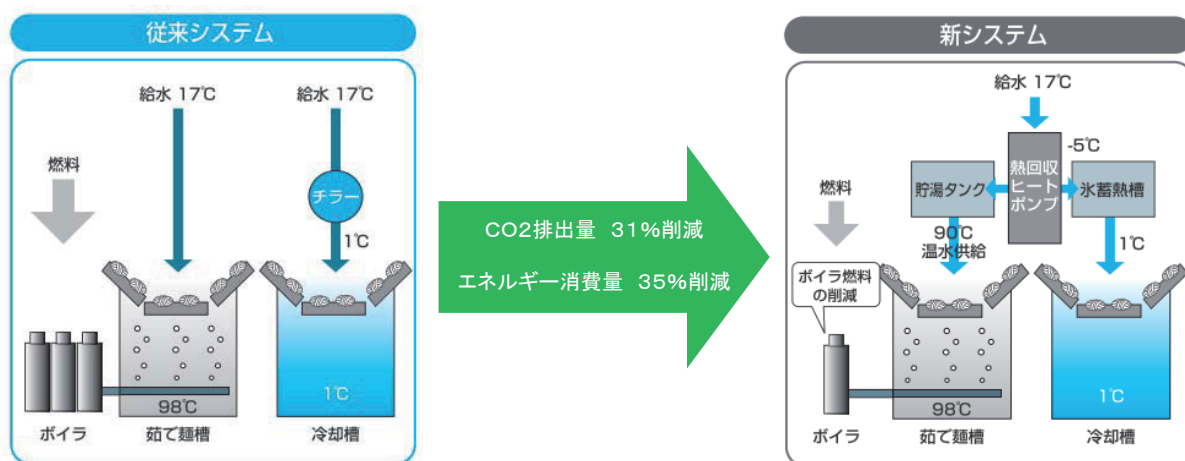
概要 or 原理

- ◆ 排熱回収型ヒートポンプ【捨てられていた熱を有効利用】
 - ・ 数十℃程度の利用困難な温度帯の排熱を熱源として有効利用する。
 - ・ 排熱と熱需要に時間のずれがある場合には、ヒートポンプで作った熱をためておく蓄熱槽を設けることで、排熱を無駄なく利用することが可能。
- ◆ 冷温同時取出ヒートポンプ【冷却と加熱の合理化】
 - ・ 冷熱と温熱を同時に利用することが出来るヒートポンプ技術。
 - ・ 食品工場など冷却と加熱の工程が両方存在する場合は、高効率な運用が可能。
 - ・ 両方の熱を同時に生成することにより、従来の2倍近い効率を実現し、工場全体の省エネルギーに貢献。



省エネ効果 & 特記事項

- ◆ 製麺工場【熱回収ヒートポンプを利用することにより、冷熱・温熱を同時に供給することが可能】



コンタクト先

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 国際・技術研究部

住所：東京都中央区日本橋蛸殻町 1 - 28 - 5 ヒューリック蛸殻町ビル 6F

電話番号：03-5643-2404 Fax 番号：03-5641-4501

URL：<http://www.hptcj.or.jp>